

2013年5月29日

楽天リサーチ株式会社

新機種一番人気は Xperia (TM) UL で 15.3%が購入検討

約 3 分の 1 のユーザーが次期モデルまで様子見

- KDDI2013 年夏モデルに関する調査 -

URL: <http://research.rakuten.co.jp/report/20130529/>

楽天リサーチ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：森 学）は、KDDI2013年夏モデルに関するインターネット調査を実施しました。今回の調査は、5月22日から23日の2日間、楽天リサーチに登録しているモニター（約230万人）の中から、現在主にKDDIの携帯電話を利用しており、2013年12月までに端末の買い替えを検討しているiPhoneユーザー、Androidユーザー、フィーチャーフォンユーザーそれぞれ200人、合計600人の男女を対象に行いました。

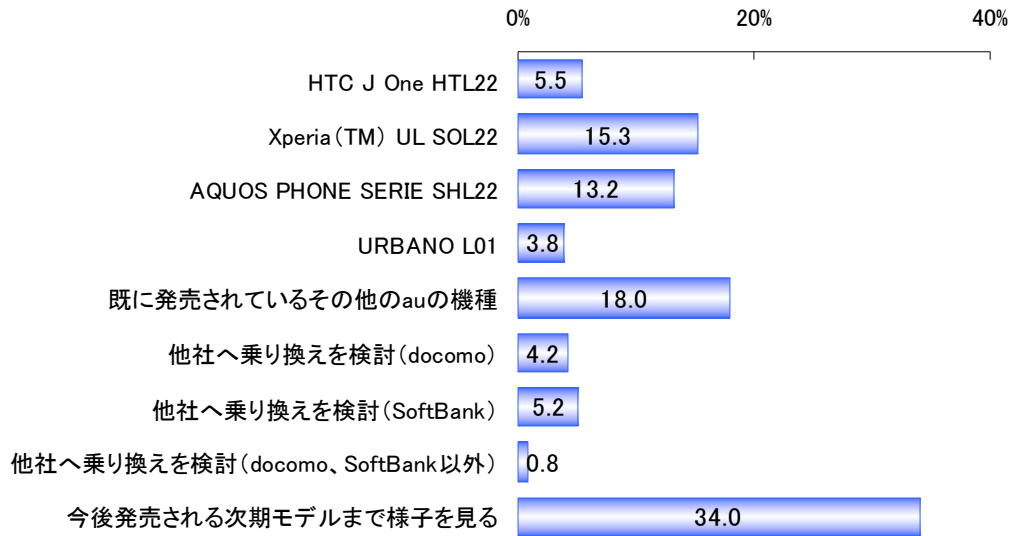
■ □ 調査結果 □ ■

■ 新機種一番人気は「Xperia (TM) UL SOL22」で15.3%が購入を検討。ただし、「今後発売される次期モデルまで様子を見る」が34.0%、「既に発売されているその他のauの機種を検討」が18.0%で、半数以上が新機種以外を選択。

2013年夏モデルとして発表された新機種のうち、もっとも購入検討候補となる機種はどれか（今回の発表機種に候補がない場合は、検討状況としてもっともあてはまる状況を）たずねたところ、新機種の中でもっとも人気だったのは「Xperia (TM) UL SOL22 (15.3%)」、2位は「AQUOS PHONE SERIE SHL22 (13.2%)」、3位は「HTC J One HTL22 (5.5%)」という結果となった。

一方、「今後発売される次期モデルまで様子を見る」が34.0%、「既に発売されているその他のauの機種を検討」が18.0%という結果となった。今回、KDDIからは厳選された4機種のみでの発表となったため、購入検討における機種ごとのばらつきが少なかった反面、次期モデルまで購入を見送るユーザーも多かったものと思われる。

◇ 2013年夏モデルのうち、もっとも購入検討候補となる機種（候補となる機種がない場合は、検討状況としてもっともあてはまる状況）（n = 600）単数選択 単位：%



■ iPhoneユーザーの56.0%が「次期モデルまで様子見」、Androidユーザーとフィーチャーフォンユーザーも2割強が「次期モデルまで様子見」

買い替えの検討状況は、現在利用している端末によって異なるだろうか。調査結果を現在利用している端末によって分類したところ、iPhoneユーザーの56.0%が「今後発売される次期モデルまで様子を見る」と回答しており、その理由を自由回答形式で聞いたところ、「iPhoneの新機種の発売を待っているから」、「iPhone以外のスマートフォンを買うことは考えられないから」など、iPhoneの継続利用を強く希望する回答がほとんどだった。

Androidユーザーは、今回発表された新機種への購入検討意向の合計が53.5%であった一方、「今後発売される次期モデルまで様子を見る」も21.0%と比較的高かった。

フィーチャーフォンユーザーは、「既に発売されているその他のauの機種」が27.0%、「今後発売される次期モデルまで様子を見る」が25.0%という結果となった。

◇ 2013年夏モデルのうち、もっとも購入検討候補となる機種（候補となる機種がない場合は、検討状況としてもっともあてはまる状況）（n=600）単数選択 単位：%

	n	HTC One	SXperia (TM) UL	SEQUIES SPHHLONE	URBAN LO1	既に発売されているその他の機種	他社へ乗り換えを検討 (docomo)	他社へ乗り換えを検討 (SoftBank)	他社へ乗り換えを検討 (docomo、SoftBank以外)	今後発売される次期モデルまで様子を見る
全体	600	5.5	15.3	13.2	3.8	18.0	4.2	5.2	0.8	34.0
iPhoneユーザー	200	5.0	12.0	3.5	1.0	11.0	3.5	8.0	0.0	56.0
Androidユーザー	200	8.0	20.0	21.5	4.0	16.0	5.5	2.5	1.5	21.0
フィーチャーフォンユーザー	200	3.5	14.0	14.5	6.5	27.0	3.5	5.0	1.0	25.0

■新サービス「auスマートサポート」は興味ありが5割弱、13.0%が利用を検討

新機種と同時に発表された新サービス、au スマートサポートについてどう思うか聞いたところ、「興味があり、サービスの利用を検討したい」という回答が 13.0%、「興味はあるが、サービスの利用を検討するかどうかはわからない」が 32.8%となり、5割弱のユーザーがこのサービスについて興味を持っていることがわかった。

◇au スマートサポートについてのどう思うか (n=600) 単数選択 単位%

	%
全体 (n=600)	100
興味があり、サービスの利用を検討したい	13.0
興味はあるが、サービスの利用を検討するかどうかはわからない	32.8
特に興味はない	54.2

■KDDIに期待することはLTE通信エリアの拡大、端末メーカーに期待することは端末の品質保持

携帯キャリア (KDDI) や端末メーカー (KDDI向けに端末を供給しているメーカー) に今後期待することを自由回答形式で聞いたところ、携帯キャリアに対しては、「LTE通信ができるエリアをもっと拡大して欲しい」、「通信料をもっと安くして欲しい」、というような通信エリアや料金に対する期待の声が多くあがった。

一方、端末メーカーに対しては、「バッテリーが長持ちする端末を作って欲しい」、「操作性が快適で、薄くて軽い端末が欲しい」というような声があがった。

【調査概要】

調査エリア : 全国
調査対象者 : 現在主にKDDIの携帯電話を利用しており、
2013年12月までに端末の買い替えを検討している男女
回収サンプル数 : iPhoneユーザー、Androidユーザー、フィーチャーフォンユーザー
それぞれ200サンプル、合計600サンプル
調査期間 : 2013年5月22日から5月23日
調査実施機関 : 楽天リサーチ株式会社

以上

【お問い合わせ先】

楽天リサーチ株式会社 マーケティング企画部
Email : pm-rsch-clama@mail.rakuten.com